

令和7年度 大館市立山瀬小学校 学校評価書 (前期)・年度)

A 学校教育目標

ふるさとに学び、未来を拓く児童の育成 ～夢をもち、やさしく、まじめに、せいっぱいがんばる子～

B 本年度の重点

挑戦 一ステップアップ！今より成長した自分を目指して～

～ たけのこの里で ぐんぐん伸びる たけのこ T・T・S(つながり 確かめ シンカする)で確かな学力を ～

○夢を育てるふるさとキャリア教育の推進

○夢の実現に向かう確かな学力の向上

○夢を支える豊かな心の育成

○夢を支えるたくましい体の育成

C 学校経営の特徴

学校経営の基本方針

- 子どもたちがふるさとのよさを知り、ふるさとを大切に思いながら、高い志を抱く学校づくり
- 一人一人の子どもが、一歩前へ踏み出し、積極的に学習や活動を行う学校づくり
- 教職員個々が使命感をもって実践と研修を重ね、子どもの人権を尊重し、学力や様々な可能性を伸ばす学校づくり
- 全校児童・全教職員が心をひとつにし、力を合わせ、家庭や地域と連携・協働できる学校づくり

夢をもち、
やさしく、まじめに、
せいっぱいがんばる子

目指す児童像

- 夢をもち
 - ・夢や目標に向かって粘り強く努力する児童
- やさしく
 - ・自他を大切にし、思いやりの心をもった児童
- まじめにせいっぱい
 - ・自分の役割を果たし、基礎・基本となる学力を身に付けた児童

目指す学校像

- ・一人一人が認められ、「心の居場所」がある学校
- ・明るく、活気に満ちた学校
- ・児童が生き生きと楽しく学べる学校
- ・地域と連携、協働し、地域に開かれた学校

目指す教師像

- ・子ども一人一人を尊重し、温かく支える教師
- ・生徒指導の機能(自己存在感、共感的人間関係、自己決定)を生かし、子どもを育てる教師
- ・授業力向上と研修に励む教師
- ・家庭、地域と協力し合い、信頼される教師

経営の重点事項と具体的な取組

1 ふるさとキャリア教育の充実	2 確かな学力の向上	3 豊かな心の醸成	4 たくましい体の育成
・地域の「ひと・こと・もの」を活用した多様な体験活動の推進 (たけのこプロジェクト～栽培活動・たけのこ和紙作り・ふるさとを歩こうデー等～) ・地域の特色や伝統文化等を学ぶ探究活動の展開	・学習習慣と基礎的、基本的な学力の定着 ・主体的に学び高め合う学習指導(やませっ子学びのスタイル)、「つながる場」「たしかめる場」「シンカする場」の充実 ・自分の考えを根拠をもとに話せる児童 ・UDの視点を取り入れた個に応じた指導	・元気なあいさつや返事と整理整頓、時間を守る等の基本的な生活習慣の定着 ・議論することを通して道徳性を育む道徳科の充実 ・思いやりの心や豊かな心を育む特別活動、読書活動の推進	・体力テストの結果を生かした効果的な体力づくりの推進 ・運動の楽しさを味わい、基本的な知識や技能を身に付ける体育学習の充実 ・望ましい生活習慣を確立する食育、保健教育の推進
学習規律の徹底と生徒指導の機能を高めた学級経営が基盤			

かいなを組み、OJTを通して学び合い、同僚性を高める「チームやませ」

学校間・家庭・地域との連携

- OPTA活動
- 地域学校協働活動
- ◎学校運営協議会
- 田代中学校区小・中連携研究会
- たしろ保育園との連携
- 福祉教育推進事業

ふるさとに学ぶ

6月6日(金)
【ふるさとを歩こうデー】



挑戦
一ステップアップ！

5月28日(水)
【授業を見合う会
(4年算数)】

令和7年度学校評価一覧(前期)

学校名(大館市立山瀬小学校)

学校の重点	◇夢を育てるふるさとキャリア教育の充実	挑戦—ステップアップ！今より成長した自分を目指して— ～たけのこの里でぐんぐん伸びる たけのっ子 T・T・S で確かな学力を～ つながり たしかめ シンカする	評価区分(達成度) きわめて良好(100%以上) 良好(80%以上達成) おおむね良好(60%以上) やや不十分(40%未満) 努力を要する(40%未満)
	◇夢の実現に向かう確かな学力の向上		
	◇夢を支える豊かな心の育成		
	◇夢を支えるたくましい体の育成		

大館市立山瀬小学校 人間基盤力・大館市市民実践力の育成	評価項目		自己評価A	運営協議会評価	評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B
	I 自主的・自立的な生活	規律ある落ち着いた生活を送りながら自分を律し、夢の実現に向けて努力しようとしている。	良好	良好	1 基本的生活習慣の確立	(1) 明るく元気で心のこもったあいさつと落ち着いた校内生活の励行	・運営委員会と学年ごとの「あいさつ運動」、小中連携「あいさつ運動」の実施 ・運営委員会「廊下歩行運動」の実施 ・「次代を担う田代の子～夢の実現に向けての自立プラン～」の実施	4
					2 夢に向かって努力する資質能力の育成	(2) つながりを含めて、夢や目標に向かって努力する機会の充実	・夢を育む環境づくり(職員室前に全校児童の夢の掲示、各学年に一人一人の目標掲示) ・「たけのこプロジェクト」(たけのこ皮集め・農園活動、ふるさとを歩こうデー等)による目標に向かう力を育む取組	4
	II 思いやりの心 たくましい心	自他を大切に、互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら安心した学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	おおむね良好	おおむね良好	3 思いやりの心の育成	(3) 自他を大切に、温かい思いやりの心を育む活動の充実	・児童理解のためのアンケート・教育相談の実施・道徳科の充実・授業での振り返りの実施・互いを認め合う学級づくり・帰りの会での「今日の○○さん」の紹介	3
						(4) つながりを含めて、思いやりの心を育てる特別活動の推進	・「花丸ニュース」・縦割り活動・異学年(学園)交流 ・運動会遊技・体力テスト・水泳授業 ・比内支援学校との居住地区交流(3年)	4
						(5) 豊かな心を育む読書活動の充実	・家庭と連携した読書活動の充実(うち読秋田県一周)・昼読書の工夫(図書室の活用)・読み聞かせ活動の充実・必読図書等の推進	3
	III 健康と体力	食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	良好	良好	4 健康と体力の向上	(6) 体力づくりの推進と体育学習の充実	・運動会や歩こうデーに向けた昼休みのマラソントラニム ・体力テストに向けた取組と実施 ・体育委員会主体の集団遊びの工夫と実施	4
						(7) 適切な食習慣・生活習慣形成のための指導と家庭との連携	・食に関する啓発活動(食育掲示、べろりんピック、かみかみチャレンジ、昼の放送等)・歯磨き教室・指導・手洗いの励行・健康花丸チェック	4
	IV 基礎学力	意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	5 確かな学力の育成	(8) 基本的学習習慣の徹底	・学習態度や話型の指導・学習環境の整備 ・家庭学習の習慣化(手引きの活用、自学紹介コーナー、自学花丸デー、ノート展、自学を見合う会)	4
						(9) 基礎・基本的な学力の定着	・意図的、計画的な繰り返し指導(ドリル学習、百マス計算、新聞ワークシート、ミニテスト等)・個に応じた指導の工夫(TT指導等)・聞き方、話し方の強調月間の設定	3
						(10) 共感的・協力的に学び合う学習指導の充実	・基本的な学習スタイル(つながる場、たしかめる場、シンカする場)の活用 ・授業での学び合い、話し合いの場(たけのこっ子タイム)の設定と充実	4
	V 安全・安心	児童の安全確保に取り組んでおり、諸問題への組織的対応が図られている。	良好	良好	6 安全教育と安全管理の徹底	(11) 安全教育の徹底による安全意識の高揚	・集団下校指導、交通安全教室、避難訓練(地震)の実施 ・生徒指導部だより「すこやか通信」の発行・地区児童会(危険箇所の確認等)	4
						(12) 地域や関係機関と連携した安全指導	・警察、交通安全協会、スクールガードリーダー、子ども110番の家、PTA等、各関係機関との連携 ・引き渡しカードの更新・危険箇所確認及び看板設置、街頭指導	4
	VI 保護者・地域との連携	学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	良好	良好	7 地域の教育力の活用	(13) 定期的で効果的な情報発信	・各たより(学校報、学年だより、保健だより等)の発行、HP ・行事等におけるメール配信	4
						(14) 地域の「ひと・こと・もの」を活用した豊かな教育活動	・地域素材、人材を活用した多様な体験活動の実施(農園活動、田植え、なめこ栽培、たけのこの皮集め、藤の郷見学、ふるさとを歩こうデー、クラブ活動、ブルタブ・アルミ缶回収等)	4

ア 児童の 状況	学校評価Aと運営協議会の評価区分	きわめて良好 良好 おおむね良好 やや不十分 努力を要する	学校評価Bの評価基準	5 実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
				4 実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
				3 実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
				2 実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
				1 実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 自主的・自立的な生活				
児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント	
規律ある落ち着いた生活を送りながら自分を律し、夢の実現に向けて努力しようとしている。	前期	良好	良好	校内ではあいさつがよくできているが、校外へ一歩踏み出した時のあいさつはどうか。一歩前進させてほしい。地域の人とコミュニケーションをとる機会に大切にして、言葉をつないで会話を成立させられる力を鍛えていってほしい。児童に力をつけさせたいという思いをもち、教師が子どもに求める姿勢を大事にしていってほしい。
	年度			
と学校 学校 校評 の 価 改 の 善 概 策 要	【前期(一年度)】(1)についてはいさつについては、児童や保護者、教員とも肯定的回答が9割超である。落ち着いた校内生活については、児童と保護者の肯定的回答は9割に対して、教員は8割となっている。あいさつは、校内や集団では積極的に元気よく行っているが、個人や地域でとなると弱いところがある。2学期は、あいさつの意義を再確認し、来校者や校外で出会った方へ進んでできるよう呼び掛けていく。落ち着いた生活では、安全な廊下歩行について、運営委員会が呼び掛けており、廊下歩行強調週間も行っている。自己管理能力の向上が課題であるため、ルール的重要性や安心・安全な生活について指導していく。(2)について日々の学習や学校行事、ふるさとキャリア学習において一人一人の児童が目標をもって取り組み、事後は振り返りを行って次につなげるようにしている。今後も積み重ねを大事にして、児童の夢や目標に向かう力を育てていきたい。 【年度(一学年度)】			

	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣の確立	(1) 明るく元気で心のこもったあいさつと落ち着いた校内生活の励行	・運営委員会と学年ごと、小中連携の各「挨拶運動」、挨拶名人の選出 ・運営委員会「廊下歩行運動」の実施 ・「次代を担う田代の子～夢の実現に向けた自立プラン～」の実施	4	
2 夢に向かって努力する資質・能力の育成	(2) つながり強めて、夢や目標に向かって努力する機会の充実	・夢を育む環境づくり(全校児童の夢や目標の掲示) ・「たけのこプロジェクト」(たけのこ皮集め、農園活動、ふるさとを歩こうデー等)による目標に向かう力を育む取組	4	

【各種データ】※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 (アンケート:4段階評価 4が最もよい) ★実践事項
 [1]に関するデータ ■□「子どもたちは、元気な挨拶ができる。」 ◎「あなたは、元気な挨拶ができましたか。」

- ★児童会によるあいさつ運動の実施
 - ・児童会と学年ごとのあいさつ運動 5月、9月
 - ・児童会による各学年のあいさつ名人の紹介
 - ・全校集会での運営委員会による「爽やかなあいさつ」の呼び掛け
- ★田代地区小中連携あいさつ運動 6月
 - ・中学生と一緒にあいさつ運動
 - (次代を担う田代の子「笑顔であいさつ」)
- ★運営委員会による廊下歩行強調週間の実施→安全で落ち着いた校内生活へ
- ★職員全体で児童へのあいさつ、廊下歩行等の言葉掛け

※田代中学生との合同あいさつ運動



※運営委員会によるあいさつ運動

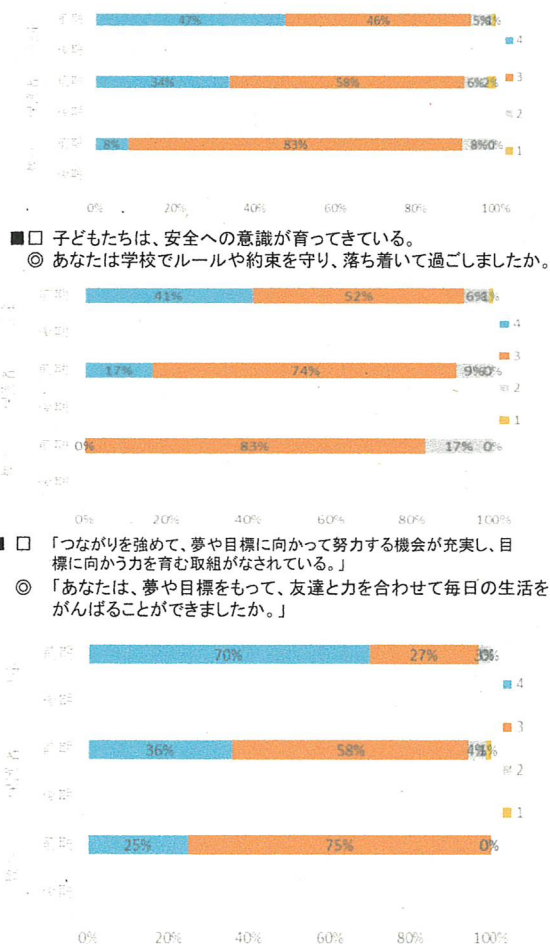


[2]に関するデータ

- ★夢に向かう力を育む取組(ふるさとキャリア教育)
- 職員室前廊下の夢の掲示と各学級に一人一人の目標掲示
- 行事や委員会・係活動等と関連させた取組
 - ・毎月の月目標設定(学団ごと)
 - ・目標に向かって努力する取組と振り返り～例:係活動、運動会、農園栽培活動、ふるさとを歩こうデー
- 「たけのこプロジェクト」の推進
 - ・和紙作り用にたけのこの皮集め、皮の選別作業、農園栽培活動、ふるさとを歩こうデー・PR活動等、地域の教育力を活用した体験活動



※職員室前廊下に掲示している全校児童の夢カード



ア 児童の状況

Ⅱ 思いやりの心・たくましい心				
児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント	
自他を大切にし、互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら安心した学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	前期 おおむね 良好	おおむね 良好	思いやりの心を育てることは、学校教育目標にも掲げている重要な目標である。道徳科の授業はもちろん、様々な教育活動の中で子どもたちに思いやりの心を育んでいきたい。図書委員の主体的な活動をさらに継続することで児童の読書への関心を高めるとともに、豊かな心を醸成して欲しい。	
学校の改善評価の概要と学	【前期(一年度)】〈3について〉児童は9割超だが、保護者は8割、教員は7割となっている。日々の児童の観察を丁寧に行い、生徒指導的な対応が必要な場合は、学級担任だけでなくチームで対応するよう努めている。道徳の学習の充実とともに、心の授業等の発達支持的生徒指導を大事にしていきたい。〈4について〉様々な場面で異学年(学団)による活動を意図的に取り入れ、仲間との関わりの中で協力し合ったり助け合ったりすることができるようにしている。放送での花丸ニュースの紹介では、1年生も積極的に投稿している。〈5について〉読書については、秋田県一周カードの活用や新聞クイズなど、図書委員を主体的に活動させた取組、たしどリームライブラリーの皆さんによる読み聞かせを行い、本に親しむ環境を整備している。2学期からも読書集会など、子どもたちの意識を高める活動を充実させていきたい。 【年度(一学年度)】			
評価指標	実践課題		主な取組	学校評価B 前期 年度
3 思いやりの心の育成	(3)	自他を大切にし、温かな思いやりの心を育む活動の充実	・児童理解のためのアンケート・教育相談の実施 ・道徳科の充実・互いを認め合う学級づくり	3
	(4)	つながりを強めて、思いやりの心を育てる特別活動の推進	・花丸ニュース・縦割り活動・異学年(学団)交流、運動会遊競技、体力テスト、水泳授業	4
	(5)	豊かな心を育む読書活動の充実	・家庭と連携した読書活動の充実(うち読)・必読図書の選定・昼読書の工夫・読み聞かせ活動の充実	3
[各種データ] ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項				
[3に関するデータ] ★児童観察と教育相談 ・いじめアンケート後の個人面談 ・長期休業中の全保護者との個人面談 ★児童を語る会・校内支援委員会 ・児童の様子を把握し、適切な指導ができる校内体制と関係機関との連携 ★道徳科の充実 ・物事を多面的、多角的に考えられる指導方法の工夫、道徳コーナーの設置 ★互いに認め合う学級づくり ・授業での「振り返り」の発表後の認め合い ・善行を認め合う、帰りの会での「今日の○○さん」の紹介 ★児童会いじめ運動 ・いじめ、いじわるをしない標語の募集 [4に関するデータ] ■ □ 「思いやりの心を育てる特別活動を推進している。」 ◎ 「あなたは友達と協力しながら係・委員会・当番活動や縦割り班活動に取り組むことができましたか。」 ★思いやりと奉仕の心を育てる取組の具体例 ○花丸ニュース ○縦割り班清掃活動 ○小中合同ボランティア ○ペットボトルキャップ、アルミ缶、こでんの回収 ○ふるさとを歩こうデー ○大館市子どもサミットへの参加 ○異学年(学団)交流・運動会遊競技・体力テスト・水泳授業 [5に関するデータ] ★読書の奨励 ・家庭と連携した読書活動の充実・必読書の選定・昼読書の工夫(図書室の活用等) ・読み聞かせ活動の充実(図書委員会・たしどリームライブラリー) ■ □ 「子どもたちは、本に親しんでいる。」 ◎ 「あなたは、進んで読書をすることができましたか。」				
※ドリームライブラリーによる読み聞かせの実施				

ア 児童の状況

Ⅲ 健康と体力

児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント
食や運動を通じて健康や体力への関心をもち、望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期 良好 年度	良好	PTAでは体育を参観する機会があった。保護者も巻き込んで子どもたちは生き生きと活動していた。運動が苦手な子どもたちも様々な運動に楽しんで取り組めるような手立てを工夫していった。歯磨き教室の取組が家庭生活にも生かされているのか、メディア使用と睡眠時間の関係など実態を把握して、取組をよりよく改善していった。
学校の評価改善の概要と	【前期(一年度)】(6)について運動会やふるさとを歩こうデーに向けて、マラソントイムを実施した。運動会の持久走では、子どもたちは保護者や色別の応援を受けて一生懸命走ることができた。降雨等によりマラソントイムの終了時期が曖昧になってしまったため、子どもたちの振り返りがきちんとできなかったことが課題である。(7)について全学年において養護教諭による歯磨き教室・指導を実施し、歯の健康や歯磨きの仕方について理解を深めることができた。保健委員による「健康花丸チェック」も実施した。べろりんピックやかみかみチャレンジなどの取組、昼の放送や食育掲示板を通して食の大切さや食習慣等について啓発することができた。2学期は、栄養教諭と連携した食育授業やメディアコントロール力を高める取組を工夫していきたい。		
	【年度(一年度)】		
評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B 前期 年度
4 健康と体力の向上	(6) 体力づくりの推進と体育学習の充実	・運動会や歩こうデーに向けた昼休みのマラソントイム ・新体力テストに向けた取組と実施 ・体育委員会主体の集団遊びの工夫と実施	4
	(7) 適切な食習慣・生活習慣形成のための指導と家庭との連携	・食に関する啓発活動・歯磨き教室 ・手洗いの励行・健康花丸チェック	4

〔各種データ〕※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

〔6]に関するデータ〕■「体力づくりや体育学習を充実させ、体力の向上に努めている」

★ 体力づくりの取組

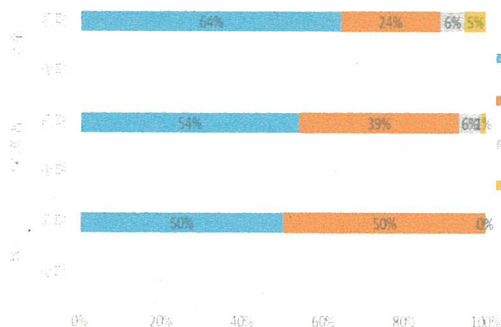
- マラソン運動～運動会練習時の業間や昼休みに実施
- ・カードの活用と掲示により、めあてをもたせ意欲を高めている。
- ・強調月間の設定
- ・体力テストに向けた体力向上を図る体育学習
- ・体育委員会による縦割り班遊びの実施

※運動会に向けたマラソントイムの様子



□「子どもたちは、外遊びやスポーツに楽しみ、体力づくりに努めている」

◎「あなたは、体育の時間や休み時間に(マラソンなど)進んで運動しましたか。」



<昨年度の体力テストの結果>

R6新体力テスト結果	学年	現小2	現小3	現小4	現小5	現小6
県平均を100としたときの指数	体力得点 男	111	119.8	104.6	84.4	120.6
	体力得点 女	103.7	108.6	108.4	92.3	100.1

※昨年度の体力テストの結果は、おおむね良好である。現小5男女以外は県平均を上回っている。今年度も体力の向上を図る取組を継続していく。

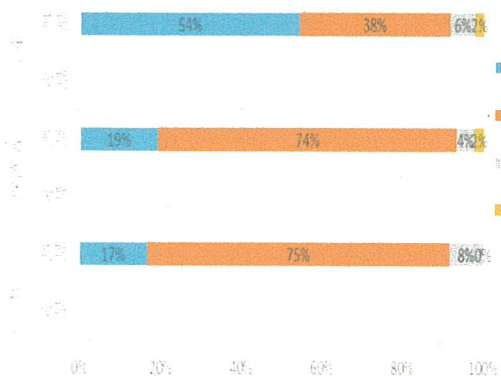
〔7]に関するデータ〕

- ★ 栄養教諭による食に関する啓発活動(給食だより・昼の放送) 給食指導のめあての設定と掲示(食育掲示板)
- ★ 養護教諭による歯磨き教室の実施、長期休業中のカード配付等、保護者と連携しながら指導を進めている。
- ★ 保健委員会による「健康花丸チェック」、メディアコントロールの呼び掛け、望ましい生活習慣を形成へ *市全体でメディアに関する実態調査の実施

栄養教諭による食育掲示板・保健委員によるべろりんピックPR・養護教諭による歯磨き教室



■ □「子どもたちに望ましい生活習慣・食習慣が身に付いている。」
◎「あなたは、早寝・早起き・朝ご飯など、規則正しい生活をしていますか。」



ア 児童の状況

IV 基礎学力																												
児童の状況		学校評価A		運営協議会評価	運営協議会のコメント																							
意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身に付けながら、学力を向上させている。	前期	おおむね 良好	おおむね 良好		全国学力学習状況調査の結果は良好である。授業を参観して、楽しんで学んでいる授業では、子どもたちの表情が明るく、積極的に発言したり、課題解決に取り組んだりしている場面が見られた。子どもたちが主体的な学びを積み重ねることで自信をつけ、様々な場面で発揮できる力になるはずである。学校全体でさらに授業改善に取り組んでいってほしい。																							
	年度																											
学校の評価改善の概要と	【前期(一年度)】<8について>月別の重点目標をもとに全学級で取り組むことで、学習規律が身に付いてきている。また、家庭の協力を得ながら家庭学習の習慣化を図るとともに、自学ノート展等で、より効果的上がる自主学習の仕方を学んでいる。習慣化は図られているものの、子どもたちの目的意識の向上や学習内容については課題があり、根気強い指導が必要である。<9について>朝学習や意図的な繰り返し指導等で、基礎的・基本的な学力の向上を図っている。全国学力・学習状況調査の結果を分析し、6年生だけでなく、全学年で日々の授業改善につなげていく。<10について>共感的・協働的に学び合う学習を目指して、「やませっ子学びのスタイル」を推進している。子どもたちの実態はそれぞれの学年で差はあるが、目指すべき子どもの学ぶ姿を共通理解し、全職員が共通実践していくことを心がけ、より主体的・対話的で深い学びとなる授業を目指していく。 【年度(→次年度)】																											
	実践課題		主な取組		学校評価B																							
5 確かな学力の育成	(8) 基本的学習習慣の徹底		・学習態度や話型の指導・学習環境の整備 ・家庭学習の習慣化		前期 4 年度																							
	(9) 基礎・基本的な学力の定着		・意図的計画的な繰り返し指導 ・個に応じた指導の工夫・聞き方、話し方の強調月間の設定		3																							
	(10) 共感的・協働的に学び合う学習指導の充実		・やませっ子学びのスタイル (つながる場、たしかめる場、シンカする場)の活用 ・授業での学び合い、話し合いの場(たけのこっ子タイム)の設定と充実		4																							
【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項 【8に関するデータ】 ★学習指導部・研究部による計画的な取組 ○「学習の約束」の徹底 ・月別重点目標による学習訓練の徹底(4月:基本的な学習態度を身に付けよう 5月:よい聞き方を身に付けよう 等) ○家庭学習の習慣化 ・家庭との連携を図る「家庭学習の手引き」の配付 ・自学紹介コーナーの設置とノート展の実施 ・自学花丸デー、自学を見合う会(学団)の設定 ○学習環境の整備 ・「やませっ子学びのスタイル」 ・「話し方・聞き方名人」 ・「声のものをさし」 ※学習リーダーが話し合いの進行役を務める。 																												
【9に関するデータ】 ★意図的計画的な繰り返し指導の実施状況 ○ぐんぐん学習の推進、朝学習の活用 ・ドリル学習・百マス計算・新聞ワークシート ・ミニテスト等 ○各種テスト、ノートチェック、学習アンケートの実施 ○個に応じた指導の工夫(算数TT) ○話し方、聞き方の強調月間の設定(5・6月)																												
令和7年度全国学力・学習状況調査の結果(平均正答率 %) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国語</th> <th>算数</th> <th>理科</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山瀬小</td> <td>71</td> <td>60</td> <td>74</td> <td rowspan="3">3教科とも全国を上回っている。国語と算数は県平均並み、理科は県平均を大きく上回っている。</td> </tr> <tr> <td>秋田県</td> <td>71</td> <td>60</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>66.8</td> <td>58</td> <td>57.1</td> </tr> <tr> <td>県平均を100とみたとき</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>121.3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							国語	算数	理科	結果	山瀬小	71	60	74	3教科とも全国を上回っている。国語と算数は県平均並み、理科は県平均を大きく上回っている。	秋田県	71	60	61	全国	66.8	58	57.1	県平均を100とみたとき	100	100	121.3	
	国語	算数	理科	結果																								
山瀬小	71	60	74	3教科とも全国を上回っている。国語と算数は県平均並み、理科は県平均を大きく上回っている。																								
秋田県	71	60	61																									
全国	66.8	58	57.1																									
県平均を100とみたとき	100	100	121.3																									
【10に関するデータ】 ■ □ 共感的・協働的に学び合う学習指導が充実している。 ◎ 「あなたは友達を発表を聞きながら、自分の考えを選んで発表することができましたか。」 ★「共感的・協働的に学び合う学習指導の充実」を目指した取組 ○つながる場(たけのこっ子タイム:授業での話し合い・学び合いの場の設定)  ※1年国語科文章から読み取ったことをペアで確認。共感的・協働的な学び合いが成立している。(つながる場)																												

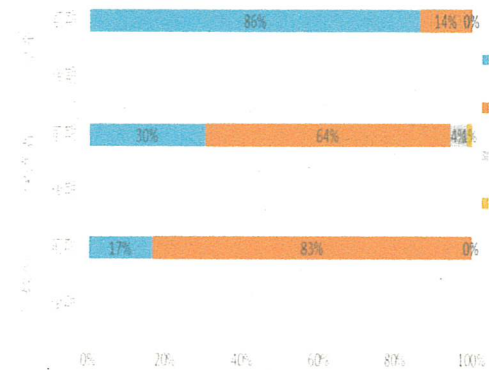
イ 学校運営 の状況	学校評価 Aと 運営協 議会の 評価区 分	きわめて良好	学校評 価Bの 評価基 準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
		良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
		おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
		やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
		努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

V 安全・安心				
学校の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント	
児童の安全確保に取り組んでおり、諸問題への組織的対応が図られている。	前期	良好	良好	学校教育アンケートを通じて、集団登校等、保護者の様々な思い、願いを学校が把握し、対応できていることはよいことである。学校の取組を充実させることや関係機関との連携を継続することで、今後も子どもたちの安心・安全を確保して欲しい。連絡メール等を通じて正確な情報提供と迅速な対応に努めて欲しい。
	年度			
と学校 学校 校評 の価 改の 善概 策要	【前期(一年度)】<11について>4月に交通安全教室を行い、道路の横断の仕方や自転車の安全な乗り方について具体的に学ぶことができた。自転車の利用について、ヘルメット着用やルールへの遵守は、家庭とも連携して指導していきたい。集団登校については、班長を先頭に安全に登校することができている。登校の仕方で心配な声が届いたときは、巡視・見届け等で安全に登校に努めている。(12について)PTA生活環境部の協力により、4月末に危険箇所へ注意喚起の看板を設置し、事故防止を呼び掛けている。スクールガードリーダーも集団下校時に見守っていただいた。(2学期も依頼済)今後も関係機関と連携しながら事故防止に努めていく。 【年度(一次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
6 安全教育と安全管理の徹底	(11) 安全教育の徹底による安全意識の高揚	・集団登校下校指導、避難訓練(地震)、交通安全教室等の実施 ・「すこやか通信」の発行・地区児童会	4	
	(12) 地域や関係機関と連携した安全指導	・警察、交通安全協会、スクールガードリーダー、子ども110番の家、PTA等関係機関との連携 ・引き渡しカードの更新・危険箇所看板設置・街頭指導・メール配信	4	

【各種データ】※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項
 【11に関するデータ】 ■ □ 「子どもたちに安全への意識が育っている。」
 【取組の具体例】★安全意識の高揚 ◎ 「あなたは学校の行き帰り、ルールを守って安全に歩くことができましたか。」

- 通学路の歩き方と危険箇所の確認
 ・集団登校、下校指導で通学路、歩き方の確認
 ・安全意識を高める集会での指導(定例会・夏休み前集会)
- 交通安全教室
 ・4月19日 1～2年安全な歩行・3～6年自転車の乗り方
- 避難訓練
 ・地震想定避難訓練 5月28日～地震発生時の避難の仕方
 ・保護者へ「児童引き渡しカード」の更新
- 生徒指導部だより「すこやか通信」の発行
 ・集団登校の確認、自転車の乗り方
 ・GWの過ごし方
 ・夏休みの暮らし方
 ・「次代を担う田代の子 自立プラン」への継続的な取組
- 地区児童会
 ・危険箇所の確認等

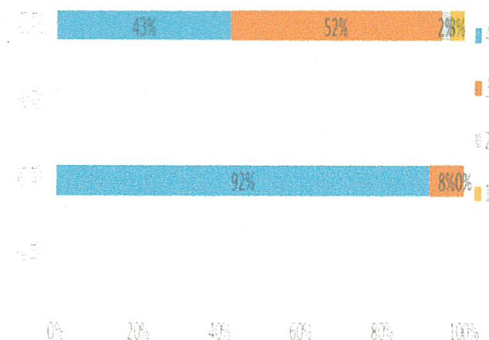


※交通安全教室
大館警察署交通課
職員の協力を得ました。

【12に関するデータ】

- ★PTAやスクールガードリーダー等の連携
 ・PTA生活環境部との定期的な街頭指導の実施、
 スクールガードリーダーからの安全指導
 ・職員による集団登校現場指導
 ・市教育相談センターとの情報交換会
 ・PTA生活環境部による危険箇所の確認と看板設置
- ・子ども110番の家の確認
 ・市教育委員会へ通学路に関する要望の提出
 ・安全に関する緊急メール配信

※PTA生活環境部による危険箇所への看板設置



イ 学校運営の状況

VI 保護者・地域との連携				
児童の状況		学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント
学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	前期	良好	良好	たけのこ紙作りは、卒業証書を手にする子どもたちにとって意義深い学習である。職員が入替わっても持続可能な学習となるようにしてほしい。おたよりやHP、ブログ等での情報発信が活発に行われており、保護者にとって子どもたちの活躍や様子を知るよい手立てとなっている。今後も取組を充実させてほしい。
	年度			
学校の改善評価の概要と学校	【前期(一年度)】(13について)学年だよりを隔週発行とし、学校から月の主な行事と下校予定時刻の一覧表を配付している。学年だよりでの重要な連絡や持ち物等の連絡については方法や内容について保護者から要望があったため、できるところから改善していく予定である。学校報は、学校行事や活動の様子、子どもたちの活躍を掲載している。HPや学校ブログは随時更新してきている。行事の実施可否や緊急時には、メール配信を行っている。今後できるだけ早い情報提供を心がけていく。(14について)保護者や地域の方々の協力を得ながら、たけのこプロジェクトの様々な体験活動を進めることができた。また、クラブ活動では伝統芸能である代野音楽等、地域のプロフェッショナルな講師から学べる機会を設定しており、子どもたちも楽しみにしている。今年度もより一層ふるさとへの愛着心を醸成できるよう、地域の協力を得ながらふるさとキャリア教育を推進していきたい。 【年度(一次年度)】			
評価指標	実践課題		主な取組	学校評価B
7 地域の教育力の活用	(13) 定期的で効果的な情報発信		・各たよりの発行、HP・ブログの更新 ・行事等におけるメール配信	前期 4 年度
	(14) 地域の「ひと・こと・もの」を活用した豊かな教育活動		・地域素材、人材を活用した多様な体験活動の実施	前期 4 年度
【13に関するデータ】※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項 【取組の具体例】 ■ □ 「定期的、効果的に学校の様子を情報発信している。」 ★学校からの情報発信、情報交換等 ○学校だより「やませつ子」の発行と配付、HPにも掲載 ・毎月発行(学校行事や活動の様子、次の月の行事予定等) ・行政協力員との連携による学区内配付 ○学年だよりの配付 ・隔週発行(学年の様子や行事予定、連絡等) ○月の主な行事と下校予定時刻表の配付 ○保健だより・給食だよりの配付 ○行事や緊急連絡等のメール配信 ○学校教育アンケートの実施(web回答開始) ○PTA活動、スポーツ少年団打合せ等による情報共有 ○教育相談等による情報交換 ・年3回の教育相談週間 ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる教育相談 ・学級担任による個人面談 ・各関係機関との連携(北教育事務所、市教委、少年教育相談センター、児童相談所、子ども課、児童クラブ、小・中・保) 【14に関するデータ】 ■ □ 「地域の『ひと・こと・もの』を活用した豊かな教育活動が行われている。」 ★「ひと・こと・もの」を生かした体験活動の充実 ○ふるさとキャリア教育の推進 ・クラブ活動における地元講師の活用(六つのクラブ) ・学校運営協議会での情報交換、地域コーディネーターとの連携 ・「たけのこプロジェクト」を核とした体験活動への支援 農園栽培活動(耕起とマルチ張り、1・2年さつま芋、3・4年ポップコーン、5年田植え、5・6年なめこ)、たけのこ和紙作り用いたけのこ皮集め、皮の選別作業、1・2年藤の郷見学、ふるさとを歩こうデー、フルタブ・アルミ缶回収等 ・地元の方からの地域学習への協力 越山小学校、五色湖の説明 ◎「あなたは、地域の人やおうちの人などが勉強を教えてくれたり、手伝ってくれたりする授業や体験活動が楽しいですか。」				
※音楽クラブで踊りを教える田代中2年藤垣丞翔さん 				